

公益財団法人 みんなでつくる財団おかやま

2018 年度(平成 30 年度) 事業報告書



平成 30 年度のみんつくは、設立から 7 期目（公益 5 期目）となり、「NPO を育てる力、社会的投資を促す力を強化する」を事業方針にかかげ、「『みつける』機能の強化」、「『そだてる』機能の強化」、「事業実施体制の強化」という 3 つの重点テーマを掲げ、継続して公益サービスの質を高める体制づくりに取り組みました。

また、平成 30 年度は西日本豪雨災害で岡山も大きな被害を受けました。その災害支援基金として「ももたろう基金」を立ち上げ、被災地支援に取り組みました。国内のみならず、海外からも多くの方に寄付をいただき、特に発災から最初の 2 か月では、子どもの居場所づくりや医療の提供、物資の提供、大切なものの保護など多様な事業を支援することができました。

寄付募集と助成を同時進行で行うことで、今まで培ってきた組織の強みと弱みを改めて意識することになりました。

地域力向上支援事業等で培ってきた県内の自治体や民間助成団体等とのネットワークを活かし、活動している団体を「みつける」こと情報を届けることが円滑に行えた一方、助成した団体を「そだてる」仕組みはあるもののそれを提供するための組織基盤やネットワークを強めていくことが重要だと再認識しました。

2019 年度は、ももたろう基金の運営などを通じてみえてきた、組織の課題を意識して、2020 年度以降も継続して質を高めていけるようマニュアルや規定類の見直しを行い、一人一人が意志を持って寄付や社会的投資ができる環境づくりに引き続き取り組んでいきます。

### 2018 年度の主な取組

- 災害支援基金「ももたろう基金」設置（多くの方の寄付を支援につなげる）
- 助成団体連絡会の設立（地域力向上支援事業の成果として）
- 第 12 期割り勘事業の実施（上半期・下半期合同で実施）
- 福祉人財育成基金交流会の開催（団体助成・奨学金第 3 期生入学）



## ■ 運営に関する事項

平成 30 年度は、社会投資の機運の高まりにあわせて、年度途中で、体制をみなおし、プロジェクトマネージャー(社会投資部門)を設置し、事務局長がその職を担い、事務局長の職務は総務担当理事が担いました。

体制としては、有給理事(事業担当)1名、無給理事1名、事務スタッフ3名に加えて、長期インターン生、継続ボランティアのスタッフにより、組織運営を行いました。

また、セミナー運営やイベント運営には、大学生やボランティアスタッフが多数かかわってくれました。

### ○評議員会 (総評議員数 5 名)

開催日	出席	決議事項
H30. 6. 25 (みんつく事務所)	評議員 4 名 理事 1 名 事務局 2 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度事業・決算報告</li> <li>・平成 30 年度事業計画</li> <li>・役員を選任</li> </ul>

### ○理事会 (総理事数 7 名、監事 2 名)

回数	開催日	出席	決議事項
1	H30. 6. 3 (みんつく事務所)	理事 6 名 監事 1 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度事業・決算報告</li> <li>・平成 30 年度定期評議員会の開催</li> <li>・理事候補の選任について</li> </ul>
2	H30. 9. 2 (みんつく事務所)	理事 5 名 監事 2 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表理事の選任について</li> <li>・プロジェクトマネージャーの設置について</li> <li>・平成 30 年 7 月豪雨災害の対応について</li> <li>・ももたろう基金について</li> <li>・平成 30 年度冠基金、社会変革基金助成</li> <li>・福祉人材育成基金奨学金助成について</li> <li>・平成 30 年度事業執行方針について</li> </ul>
3	H30. 11. 18 (みんつく事務所)	理事 4 名 監事 1 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度冠基金助成について</li> <li>・ろうきん寄付システムの助成について</li> <li>・平成 31 年度事業計画について</li> <li>・ももたろう基金について</li> </ul>
4	H31. 2. 24 (みんつく事務所)	理事 5 名 監事 1 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 31 年度事業計画について</li> <li>・平成 31 年度執行体制について</li> <li>・ももたろう基金助成について</li> <li>・平成 30 年度福祉人材育成奨学金助成について</li> </ul>



## ■ 2. 事業報告

### ○「割り勘で夢をかなえよう！」事業指定助成プログラム

#### ～ 事業実施者と寄付者をつなぐ ～

平成 30 年度は、7 月の豪雨災害の影響で、上半期の割り勘事業の実施は中止し、下半期一度のみの実施としました。

上半期の審査後、災害が発生し、2 団体が採択となっていました。1 団体については、災害の影響や事業実施の時期から辞退がありました。下半期に新規に申請のあった 2 団体とあわせて 3 団体での実施となりました。

#### 【次年度への課題】

災害支援業務との兼ね合いなどでもあり、スタッフだけでは十分なサポートが実施できなかった、来年度からは、団体サポートの責任者を組織内外とわず事前研修を受けた方の担当制とし、支援体制を強化していきます。

■ 割り勘各期の詳細については、下記の通り。

《第 12 期》 ※上半期募集分

【採択事業数】： 2 事業（応募 2）1 事業は辞退

【寄付募集期間】： 平成 30 年 7 月 19 日～平成 30 年 9 月 20 日

\*西日本豪雨災害のため寄付募集期間を変更、下期採択と同時実施

平成 31 年 1 月 15 日～平成 31 年 3 月 15 日

事業名	a. 助成金額 ※()内は助成目標額	b. 寄付総額 ※()内は寄付目標額	c. 達成率	のべ 寄付者数
十坪住宅「路太利」修復 保存事業	610,000 (500,000)	723,697 (588,000)	122%	77 人

《第 12 期》 ※下半期募集分

【採択事業数】： 2 事業（応募 2）

【寄付募集期間】： 平成 31 年 1 月 15 日～平成 31 年 3 月 15 日

事業名	a. 助成金額 ※()内は助成目標額	b. 寄付総額 ※()内は寄付目標額	c. 達成率	のべ 寄付者数
神坂邸 古民家の再生と 北前船の尻海の町づくり プロジェクト	45,000 (450,000)	59,000 (530,000)	10%	20人
子どもからお年寄りまで神 楽に触れる備中神楽プログ ラムづくりプロジェクト	886,000 (425,000)	1,043,000 (500,000)	208%	125人

事業カタログ写真 (第12期実施の3事業)



## ○「みんなの貯金箱をもとう！」冠基金事業

～ 寄付者の思いに寄り添った制度設計 ～

平成30年度は、4基金5テーマ(1基金のみ2テーマ)について募集し、うち3テーマにおいて2団体、5名の合計7事業の助成を行いました。

昨年度応募のなかった、「まち・むら」がテーマの「暮らし“き”になる基金」は、今年は倉敷で説明会を開催したこともあり、問合せを多数いただき、1団体への助成を実施しました。

しかし、基盤強化を目的とした「J基金」および障がい(高齢者)をテーマとした「山本基金」には採択団体がなく、基金の目的と申請事業へのミスマッチがあり、事前説明会や既存団体の調査など助成実施にむけた課題がありました。

あわせて、寄付者の思いをカタチにする基金として寄付者への報告体制を強化し、助成団体との交流会も開催しました。特に福祉人財育成基金では、団体助成をした「だっぴ」の成果発表とあわせて、奨学金助成の対象者にも集まってもらい、交流会を開催しました。

また、社会変革基金については、平成30年度は、「地域助け合い基金」「みんつく子ども基金」とともに大きな寄付の増加がなかったため、助成実施は行いませ

んでした。あらたに平成 30 年度西日本豪雨災害の支援基金として、「ももたろう基金を設置し、助成を行いました。（詳細は次項）

その他、事務局をつとめる「ろうきん寄付システム」は 2 団体への分配を実施しました。

### 【次年度への課題】

「J 基金」には申請がなく、「山本基金」には申請があったものの採択となる事業がありませんでした。基金の目的と申請事業がマッチするように、既存の取組団体への情報発信や事前相談会の実施など、助成団体連絡会等と連携し、基金が活かせるように相談発信体制を強化していきます。

また社会変革基金の 2 テーマ「地域助け合い基金」「みんつく子ども基金」は原資となる寄付募集がすすまず、助成実施できませんでした。

寄付募集と事業成果を関連付けて発信することで、寄付の意義を発信していきます。

(助成実施した基金)

テーマ	上段：基金名 下段：助成団体名	助成金額
まち・むら	くらし“き”になる基金 (設置者：丸口 晋司) <i>NPO 法人ペアレント・サポートすてっぷ</i>	70,000
子ども福祉	福祉人財育成基金 (設置者：匿名希望) <i>しよくにんたち ~食と職~</i>	200,000 円
障がい	福祉人財育成基金 奨学金助成 (設置者：匿名希望) <i>継続助成 2名</i> <i>新規助成 3名</i> <i>※奨学金助成対象者は非公開</i>	1,950,000 円 1,500,000 円

## ○災害支援基金 「ももたろう基金」

～ 寄付者の思いを届け、ニーズに対応した支援を実施 ～

「平成30年7月豪雨」で発生した災害に対して、県内団体等の支援活動に対する助成を行うことを目的に、「ももたろう基金」を平成30年7月8日理事会合議により設置いたしました。

寄付募集を行うこととあわせて、助成も実施し、国内だけではなく海外からの寄付も寄せられました。平成30年度中の寄付は、48,340,000円となり、多数の団体への助成を行うことができました。

特に発災から2か月は、学童保育や仮設診療所の設置、緊急物資調達事業など多様な事業に助成をし、ローカルのコミュニティ財団としての強みを活かすことができました。9月～3月の間は全国規模の団体からの助成事業募集も多く、活動団体をそちらの募集につなぐとともに、ももたろう基金も緊急支援と復興助成にわけて助成を実施しました。

基金の寄付募集及び助成は2020年まで実施することとし、次年度も継続して募集を行います。

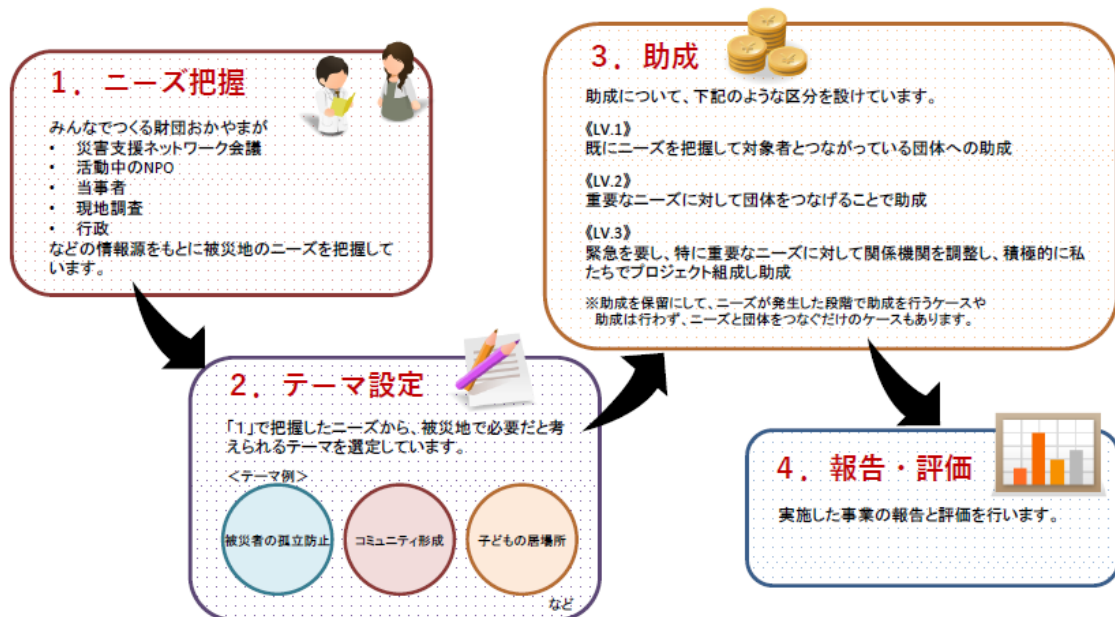
また、災害支援として、(公財)公益法人協会から「草の根支援組織応援基金」の助成をいただき、それを原資に3事業に1,218,456円の助成を実施しました。



## 助成事業一覧

募集時期	助成プロジェクト数	助成金額（総額）
第1次 H30年7月11日～7月17日	2	650,000
第2次 H30年7月18日～7月31日	15	4,311,000
第3次 H30年8月1日～8月31日	8	7,804,000
第4次 H30年8月1日～8月27日	9	10,188,000
第5次 H30年9月19日～10月31日	4	690,000
第6次 H30年9月19日～10月31日	8	3,352,000
第7次 H30年12月10日～H31年3月31日	3	500,000
第8次 H30年12月10日～H31年2月7日	8	3,150,000
年間助成金額		30,645,000

## 「ももたろう基金」助成の流れ



## ○「みんなとやればできるはず！」地域円卓会議

---

平成 30 年度度は当初、瀬戸内市にて、「市民活動」をテーマに交流会兼円卓会議を予定していましたが、災害の影響もあり、事業内容が変更となり(交流会のみ実施)、地域円卓会議は実施しませんでした。

ただ、ツクリ日の事業などで「災害支援」について考えつながらや知恵を出し合う機会を多く作りました。

## ○情報発信

---

平成 30 年度は、ももたろう基金の助成団体を中心に新聞やテレビ等に当法人が支援した団体の事業を取り上げていただく機会が多数ありました。

ももたろう基金では災害支援ネットワークや倉敷市などが協力して情報発信をしてくれたこともあり、様々な人に知っていただくきっかけとなりました。

そのほか、助成団体の活動報告や民間助成団体のイベント等でももたろう基金の紹介にあわせて、みんなつくりの発信を行いました。

## ○ノウハウ移転事業

---

### (1) 地域力向上支援事業 (岡山県)

平成 28 年度から岡山県の受託事業として実施している地域力向上支援事業も平成 30 年度は最終年度でした。今まで培ってきたネットワークを活かすため、合同説明会の実施を民間助成団体中心とした実行委員会の形式で開催をしました。(県内 3 ヶ所)

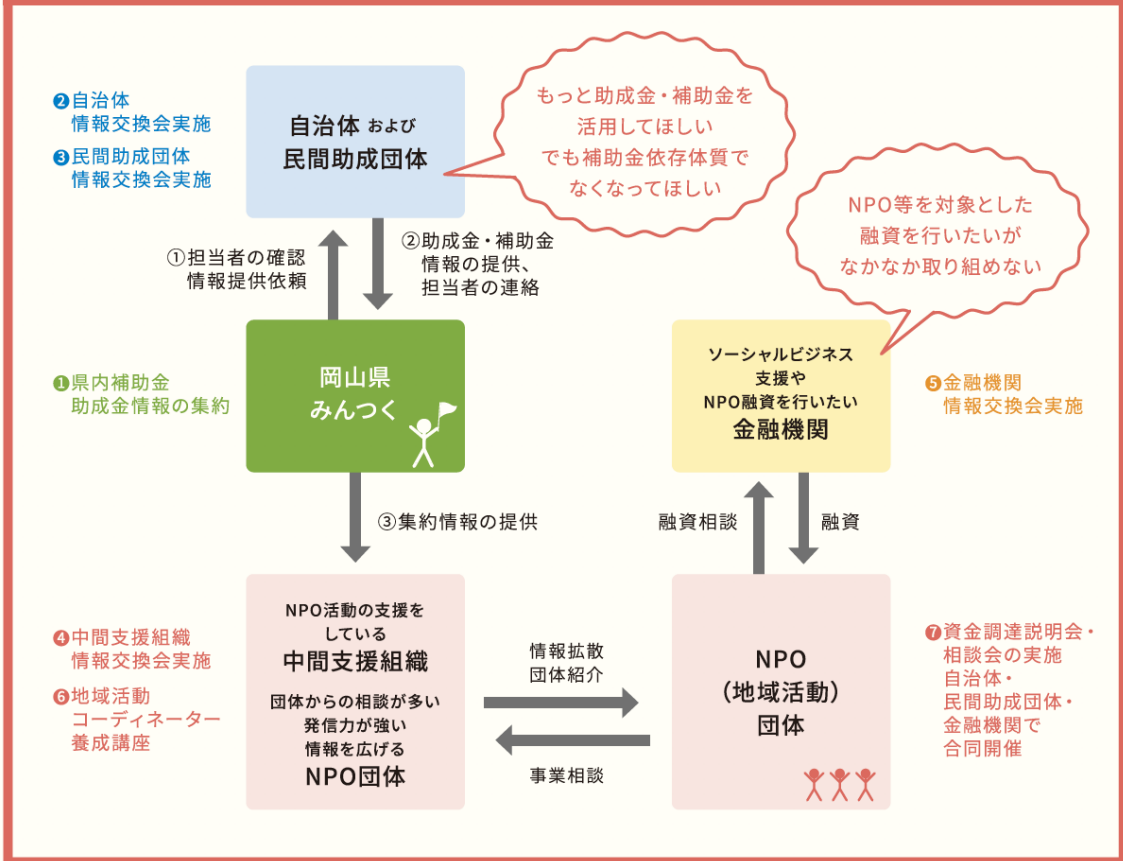
3 年間の事業成果を継続していくために、助成団体連絡会を立上げ、2019 年度以降も合同説明会や連携した事業実施をしていくことになりました。





# 県内の社会的投資が効果的に行える仕組みづくり

情報交換・発信、資金調達（補助金、助成金、融資）



(ノウハウ移転事業一覧)

相手先	内容
岡山県	「地域力向上支援事業」 ・ 地域活動支援ネットワーク構築事業 ・ 地域活動コーディネーター養成事業
瀬戸内市	「協働のまちづくり推進事業」 ・ 市民団体支援、モデル事業支援 ・ 補助金運営支援 ・ 職員研修
美作県民局 (CB プランコンテスト)	みるつく賞の授与 団体へのアドバイス、連携先紹介
全国コミュニティ財団協会	プログラムオフィサー研修 ブロック会議の運営

(審査員等)

補助金等の名称	審査員
第7回 美作地域 コミュニティビジネスプランコンテスト	石田専務理事
百間川水と緑基金	今井事務局長

## ○セミナー

+1 セミナーは、平成30年度は体制変更もあり、毎月の開催でなく年数回の不定期開催としました。今年度は「割り勘事業」についての勉強会を中心に行いました。

(実施セミナー一覧)

月	(+1 セミナー) 開催：不定期	開催場所
5月	みんなつく「割り勘事業説明会」+「ファンドレイジング講座」	みんなでつくる財団おかやま 事務所
6月	みんなつく「割り勘ワークブックを読む会」	みんなでつくる財団おかやま 事務所
2月	ソーシャルライター講座	つくぼ片山家

## ○Share 会議・研究会等

19日開催の share 会議も今年度は不定期開催としました。特に割り勘実施団体の活動を広げることを目的に、相談時や実施時の開催をこころがけ、仲間集めやアイデア募集を意識した開催となりました。

(Share 会議) 開催：不定期



月	内容	場所
4月	美作大学 里親・里子支援サークル活動説明会 発表：美作大学 里親・里子支援サークル	美作大学 5号館2階 525号室
5月	ハンセン病療養所に関する取り組み「ゆいの会活動紹介」 発表：ゆいの会	国際交流センター3階研修室
7月	第12期割り勘事業実施団体「ハンセンボランティアゆいの会の活動紹介」	瀬戸内市中央公民館視聴覚室

2月	第12期割り勘事業『面白い町！出会いのある町！御神楽で集う“ひろば”創りラボ事業』事業説明会@総社	FCLB
3月	第8次ももたろう基金の公開プレゼンと福祉人材助成金の報告会	FCLB



4月 美作大学 里親・里子支援サークル活動説明会



第12期割り勘事業『面白い町！出会いのある町！御神楽で集う“ひろば”創りラボ事業』事業説明会@総社

(研究会等への参加)

会議名 (内容)	備考
災害支援ネットワークおかやま	災害支援の情報共有
岡山県内文化関係団体の会	公益法人の活動について

## ○全国コミュニティ財団事業

(プログラムオフィサー育成事業)

全国コミュニティ財団の新規団体育成や団体支援の一環で、プログラムオフィサー育成支援事業として、視察の受け入れや助言を行いました。みんツクで培ってきたノウハウやその策定の経緯などをお話ししました。

(ブロック会議事業)

全国コミュニティ財団協会の中国ブロック会議を12月と2月に2度開催いたしました。各地の状況共有を行うとともに特に新規団体の立上げ支援について意見交換を実施しました。

## ○そ の 他 (寄付文化創造)

毎月 29 日の「ツクる日」では、ももたろう基金に関わることのテーマをおおくとりあげてて実施しました。

3 月 29 日のみんつくフォーラムでは、「真備地域のネットワーク(つながり)」をテーマにももたろう基金助成団体報告会、「平成 30 年 7 月豪雨」の支援に関わる団体の交流会を行いました。

(毎月 29 日開催)

月	内容	備考
4 月	「瀬戸内海の生態調査」～子どもと学ぶ海の恵み～	倉敷市玉島周辺
5 月	Share 会議として実施	国際交流センター 3 階研修室
6 月	みんつく「割り勘事業」第 12 期の公開プレゼンテーション審査会	岡山国際交流センター
7 月	「ももたろう基金」説明会	つくぼ片山家プロジェクト
8 月	真備町 支援のコミュニティ形成	総社市旧第一生命ビ
9 月	岡山 NPO センター設立二十周年記念式典	ピュアリティまきび
10 月	ももたろう基金の申請相談と報告書作成の会	事務所
11 月	「資金調達に関するセミナー」と「相談会」	FCLB
12 月	ももたろう基金「団体活動報告会」	FCLB
1 月	「障がい児の保護者が置かれている現状と新しい支援の形」 講演会への参加	早島町町民総合会館
3 月	「みんつくフォーラム」2019	ぶどうの家 BRANCH



4 月「瀬戸内海の生態調査」  
～子どもと学ぶ海の恵み～



6 月 みんつく「割り勘事業」第 12 期の公開  
プレゼンテーション審査会



10月 ももたろう基金の申請相談と報告書作成の会



3月「みんつくフォーラム 2019」

平成 30 年度も  
ありがとうございました！

